

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成18年3月30日(2006.3.30)

【公表番号】特表2003-513004(P2003-513004A)

【公表日】平成15年4月8日(2003.4.8)

【出願番号】特願2000-558078(P2000-558078)

【国際特許分類】

C 07 D 231/14 (2006.01)

【F I】

C 07 D 231/14

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月9日(2006.2.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

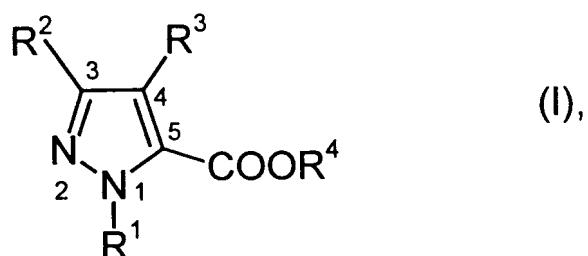
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】式(I)

【化1】



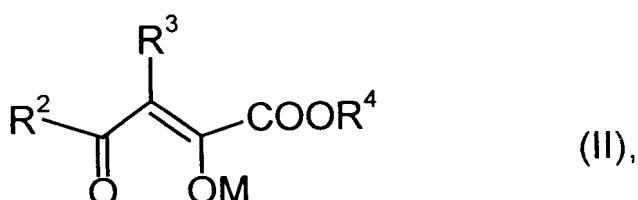
[式中、

R¹およびR⁴は、互いに独立して各々、直鎖もしくは分枝のC₁-C₆-アルキル、C₃-C₇-シクロアルキル、または場合により置換されていてもよいC₇-C₁₂-アラルキルを表し、そして

R²およびR³は、互いに独立して各々、水素、直鎖もしくは分枝のC₁-C₆-アルキル、C₃-C₇-シクロアルキル、または場合により置換されていてもよいC₇-C₁₂-アラルキルを表す]

で表される1-アルキル-ピラゾール-5-カルボン酸エステルを製造する方法であって、式

【化2】



[式中、

R²、R³およびR⁴は、各々、前記式(I)で定義した通りであり、そして
Mは、金属原子の等価物を表す]
で表される2,4-ジケトカルボン酸エステルエノラートと式(III)
【化3】



[式中、
R¹は、前記式(I)で定義した通りであり、そして
R⁵は、COO⁻部分と一緒にになって有機酸のアニオンを表す]
で表されるN-アルキルヒドラジニム塩を溶媒および水の存在下で反応させることを含んで成る方法。